

# ボランティア・クローバー

## 病院を支える大きな柱



**ボランティア・クローバーの活動**  
 ①総合案内で患者さんを笑顔で出迎え  
 ②小児科病棟での絵本の読み聞かせ  
 ③折り紙作品を制作 ④メンバーが揃って笑顔の一枚  
 ⑤患者さんを癒やす院内コンサート  
 ⑥丹精込めて作った壁飾り  
 ⑦クリスマスカードを患者さんのもとへ

毎日子どもからお年寄りまで多くの患者さんやご家族が来院する市立病院。1階の総合案内で、訪れた患者さんに優しく声をかけ、丁寧に案内してくれる病院ボランティアを目にしたことはないでしょうか。市立病院の「ボランティア・クローバー」は現在約70名で活動しており、患者さんが安心して受診できるためのサポートや入院生活を快適に送っていただくためのお手伝いをしていきます。今回はその多岐にわたる活動をご紹介します。

### 総合案内

オレンジ色のエプロンをつけたボランティアが1階エントランスホールで外来患者さんの受付や会計のお手伝い、診療科や検査室へのご案内、車椅子の方の介助などを行っています。月曜日から金曜日の午前8時30分から午後3時30分（土曜日は正午）まで、患者さんが安心して受診できるように精一杯の気持ちでお手伝いをしています。

### 絵本の読み聞かせ

小児科病棟で絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。子どもたちが入院の合間に楽しいひとときを過ごしています。

### おりがみ教室

入院患者さんを対象に月2回おりがみ教室を開いています。10月は金魚やたぬきを折り、喜んでいただきました。

### 壁飾り

布や和紙、おりがみを用い、季節感のあるものを作品として表現し、院内に飾っています。また、毎年2月に「四季の壁飾り展」と題し、市役所や公民館などで一年分の作品を展示しています。

### アフタヌーンコンサート

毎週火曜日の午後にクラシック

クヤポップス、童話、唱歌をピアノ伴奏で歌ったり、フルートやギターなどの演奏をしています。患者さんも一緒に歌い、楽しんでいただいています。

### 院内コンサート

市内外の音楽団体による一時間のコンサートを定期的に開催しています。毎回80〜100名の患者さんが広いエントランスホールが一杯になります。クリスマスコンサートではボランティア合唱団が出演し、会場を盛り上げています。

### クリスマスカード配り

病院スタッフとボランティアと一緒にいる年末のイベントとして、クリスマスカードを入院患者さんに配るイベントがあります。3か月近くかけて400枚のカードを作り、院長や看護部長と一緒にクリスマスソングを歌いながら院内を回ります。患者さんはもちろん医師や看護師など病院スタッフも笑顔になる楽しい活動です。

### 患者さんが「ほっと」できる瞬間を

ボランティア・クローバーでは、「ほっと安心 あなたの笑顔」を今年のスローガンに活動しています。これはボランティアの笑顔で患者さんが病院の中で「ほっと」できる瞬間をつくりたいという全員の思いで決

### 患者さんの「ありがとう」が活動の励みに

ボランティア・クローバー  
片山澄子さん

草加市に引越してきて間もなく、「広報そうか」で市立病院のボランティア募集の記事を見つけた、応募しました。入会して約4年が経過しましたが、初めのうちは市内の地名やバスルートなどもわからず、患者さんに尋ねられたときに戸惑うこともありましたが、しかし、「患者さんのお役に立ちたい」という思いを胸に、自分なりに病院のことを勉強するとともに、経験豊かなメンバーからも多くのこ



とを教わることで、不安が少しずつなくなり、患者さんの対応に自信が持てるようになりました。私は現在総合案内を受け持っています。患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をいただくこともあり、何よりも嬉しく感じます。今年心臓・脳血管センターが開院し、市立病院はますます充実してきています。その中で私も心を新たに活動が続けたいと思っています。

まったものです。最初は笑顔がごちなかった人も、いつの間にか自然な笑顔がこぼれるようになりました。また、この活動がボランティア一人ひとりの元気にもつながっています。

### 患者さんが病院で快適に過ごしてもらうために

市立病院にはボランティア活動が円滑に進むように調整したり、相談に乗ったりする「ボランティアコーディネーター」がいます。ボランティアコーディネーターは、常に病院全体を見渡し、患者さんが病院で快適に過ごすためにボランティア一人ひとりがどんなお手伝いができるかを考え、新たな活動を企画する役目も担っています。コーディネーターの一人、佐伯ゆかりさんは「自分が本当に

### ボランティア募集

温かい心で患者さんをサポートしてみませんか

対象…18歳以上の方  
 市立病院ボランティアルーム  
 ☎946・2200

ボランティアとしてよい仕事をしてきたのか、病院や患者さんが何を望んでいるのか常に考え振り返ることが大切ですね」と話しています。今後もボランティア・クローバーでは、患者さんがより良い環境で安心して受診できるように、ボランティア自身の経験を生かしながら病院スタッフと協力して活動を行っていきます。